

軽米町百人委員会平成 28 年度第 2 回環境・衛生部会議事録

○開催日時：平成 28 年 10 月 12 日（水）午後 6 時 30 分～午後 8 時

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：15 名中 11 人出席（小笠原恒治、永井美保子、高橋克佳、丹下美恵子、山舘松五郎、工藤佐紀子、木村拓司、中里多喜男、玉田弘悦、小林敬一、江刺家静子、）

事務局：地域整備課	新井田	日脇	江刺家
町民生活課	中野		
総務課	日山	梅木	小笠原

○開会

（地域整備課長）それでは、定刻の時間となりましたので、ただ今から平成 28 年度第 2 回軽米町百人委員会環境・衛生部会を開催いたします。部会長さんのご挨拶からお願いいたします。

（部会長）おぼんでございます。今日は寒い中、また夜分遅くにお集まりいただきありがとうございます。第 2 回となりました環境・衛生部会ですので、皆さんから積極的なご意見をいただいて良い部会にしていきたいなと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

（地域整備課長）ありがとうございました。それでは座って進めさせていただきます。それではさっそく議事の方に入らせていただきますけれども、その前にですね、第 1 回目の会議の時に 3 つの専門部、3 つのグループに分けて、道路河川等の環境整備のグループ、それから衛生環境等の整備のグループ、それと住環境、住まいのグループの 3 つに絞って話をしていこうということで、実際に皆さんから何のグループを希望しますかということで希望を取ったんですが、河川道路環境が多くて、衛生環境と住環境が少ないということで、皆さんの中で衛生環境や住環境に移れるという方がいらっしゃればそちらのグループに入らせていただいて進めてもらえればなと思います。ただ、欠席も 4 名ということで全員で 11 名なんですよね。で、3 つのグループに分けるのはちょっと人数が少なすぎるのかなという気もでございます。3 つのグループに分けるには分けたんですが、これを 2 つのグループにするのか、それとも今日は一つでやってしまうのか、ご意見を頂戴したいなと思っていました。

（委員 1）今回は 1 グループでやったら？ 4 人 5 人と足りないのであれば 3 つ

に分かれても大変なんじゃないですか？

(地域整備課長) まず、5人と6人で2グループというのも考えられますけれどもね。

(部会長) そうすると、このまま1つで同じことについて話し合うということですね？みなさんはいかがですか？

(委員2) でも、今回も4人欠席ですけど、今後も全員集まるのってなかなか難しいですよ？そしたらいつも3人4人っていうのも・・・。

(委員3) 3つではなくて、2つでいいんじゃないですか？道路河川の方からあと1人2人こっちに入ってもらえれば、半分でもできるのかなど。

(部会長) 1つでやるか2つに分けるか、そこはみなさんから意見を聞いて決めたいと思いますけれども。

(委員4) 私は、動いてもいいですよ。

(委員5) 私もどうせ偏りは出ると思って希望を書かなかったので、どこにでも。

(部会長) それでは、2つに分かれてやることでいいですか。

(地域整備課長) では、お二人に動いていただいて、あと何人かいらっしやいませんか？

(副部会長) 私もいいですよ。

(地域整備課長) それでは道路河川の環境が1, 2, 3・・・5人。それから衛生環境グループのほうが1, 2・・・6名。衛生環境の方が6人になりますけれどもよろしいですか？

(委員6) ちょっといいですか、質問。これは、要望を出し合う会でしたか？それとも、これからどうしていくかというのを・・・。というのも、あそこの道路なおしてほしいとか、側溝が臭うだとかそういうのが出ていたの

で。
(地域整備課長) これから、ですね。ここは、みなさんから提言をいただくということで、まず意見を出してもらおう。そして、自分たちで出来ることは何か、役場でできることは何かという、そういったアイデアを出していただければと思っております。具体的に自分の家の前の道路が壊れてるから直してくれとかそういうのではなくてですね、そういった全体的な何かアイデアのようなものがありましたらお願いしたいと思っています。

(委員6) これから2つに分かれるということだったけれど、一応私も住環境について希望してそれなりに勉強してきたんだけど・・・。

(地域整備課長) それも今分けた中で話してもらっていいと思います。そういったわけでですね、皆さんからいろんな意見を出し合って話し合っただけだと思います。それではさっそくですけども、そちらを道路河川

環境整備、こちらを衛生環境や住環境ということですので、進めていただければと思います。

○（引き続き道路河川環境整備グループ）

（司会）河川といえばこの間の台風 10 号で軽米の川もけっこう危なかったんだけれども、川底が上がっているとか木なんかも生えたりしていて、あれをどうにかできないかなど。

（委員 1）大町の橋の下？あそこはね、土木センターにも連絡してあって、雨が降らなければ蓮台野のあたりからやる予定だったんですよ。ただ、この台風で岩泉のあたりなんかもあんな状況だから、今年のものになるかはわからなくなりましたけれどもね。

（司会）まあ、今は岩泉の方が優先だろうからね。でも軽米もけっこうだったもんね。

（委員 1）けっこうだったね。だから本当は今月やる予定だったけれども、また確認してみます。

（司会）あと、道路の方なんかは？

（委員 7）私の住んでいるあたりのいくつかある狭い道路が通学路になっていて、いま側溝の修繕工事なんかがあるようなんだけど、そういった時に合わせて歩道を付けるとか整備した方がいいなと思います。

（司会）そういった工事の時に一緒にね。

（委員 7）歩道とかの整備というのは、やはりまだ行き届いていないと思います。通学だけでなく、おばあさんたちが車を押して歩いたりするのを見てもすごい怖いなと思うので、歩道の整備はやっていかなきゃならないんじゃないかなと思います。

（司会）前回までの部会でも歩道の話は出たもんね。それこそ予算とかね、あるんだろうけれども。

（委員 7）もちろんそれはあると思います。ただ、道路の整備をするときに一緒に歩道の整備というのも頭に置いてもらえればなと思います。

（司会）川なんかでいけばあれだね、小玉川とかあっちの方に行けば川の近くの大木なんかが倒れて橋の近くでせき止めたりしているもんね。それが原因で水が溢れたり。地域の人たちでもボランティアだったりでそういった木を切ったりとかそういうのを普段からしてもらえればもしもの時の備えとかにもなると思うんだけどね。この間の災害なんか見てそう思った。ほとんどの小さい川とかは山からの木で狭くなったりあふれているもんね。そこらへんを地域の人たちで見てもらえれば、ビーバーのようなああやって橋に引っかかったりとかもないのかなと思いました。地域の人と役場と

が一緒になってやればね。

(委員8) 一ついいですか。小軽米の小学校のところの鉄棒があるところにフェンスがあって、そこと車道との間に2メートルくらいの荒地、夏場なんかは草ボーボーなんだけれどね、そこが歩いて通う子たちの通学路なんだよね。そこを舗装してもらえるか定期的に草刈りしてもらえればと思うんだけど。あれなんかは割と早急にできるものかなと思うんだけど。

(地域整備課長) 小学校？小学校のどの辺？イメージがちょっとあれなんですけど…。

(委員8) 小学校の校門を出たとして、左側に道路とフェンスの間。草地になっているんだけど通学路になっているんだよね。

(司会) あと、消防の関係なんだけれど、小軽米の河川敷は水が少ないときはほんとに真ん中へんしか水が流れないもんね。万が一の時に消防車が下がれないんだよ。あの辺りには車で下がるところはないでしょ？できれば下がるところを付けてほしいなど。

(地域整備課長) 河川敷の構造自体も軽米の町の方の川みたいな作りになっていないですよ。

(委員8) 理想的なのはお寺さんの前あたりから降りられるようになれば一番いいよね。

(司会) いずれ大きな火災なんかになれば、なんだって水が必要になるから。この間の戸草内の家事だって、河川が割と近くにあったからよかったです。そういったのもありますから、できれば自動車ポンプが降りていけるようなところをつくってもらえれば。

(委員8) もともとあそこにはお寺さんの向かいのところに水を取るためのところはあったんだよね。あそこが埋まってしまって、今は小さな沼みたいになっているんだけど。

(地域整備課長) 火災の話になれば、それぞれ消火栓から水を取るようになるけれども、なおかつ川に降りれば…。

(司会) 消火栓は水道だからすぐにストップがかかるんですよ。初期消火やっければもう終わりだから。

(総務課長) 戸草内の時も消火栓を使ったんだけど、配水池が空になる。

(委員8) 小学校の裏にも降りるところがあるんだけど、そこはもう柳がひどくて。それに、消防車を下ろすために作ったのではないだろうしね。

(司会) そこまで考えて作った川ではないから。ただ、災害の時はいち早く消さないといけないから、できればお願いしたい。あと、この間の災害でいうと、県道だ国道だ町道だというんだけど、災害の時なんかはパッと来ないもんだからね。そこらへんはどうすればすぐに来てやってくれるも

のなのか。町道はまず役場だろうけども、県道なんかはどうなんだろう。

(地域整備課長) 倒木なんかですか？

(司会) そう。そこらを県とかとうまく連絡とって、速やかに撤去してもらえ
る体制を作ってほしい。特に休みとかだと連絡が全然つかないでしょ？

(委員 7) 今の災害の時の管理の話ですけれども、この辺の県道というのは、
建設業協会と岩手県との災害防災協定みたいなのを結んでいて、各社がそ
の路線を分担されているんですけれども、実際この間みたいなのが来ると
ちょっと対応しきれないみたいなどころがあつて。実際問題朝になってパ
トロールして、こことここがいつてるよというのをFAXして対応待ちみ
たいな感じなんですよ。ただ、土木センターも人がいないからなかなか対
応が遅れる。そういうときだと倒木とかがあつたり土砂が流入したりして
いると自分たちでタイヤショベルとかもって行ってくるんですね。それで
もまた木が倒れたとか来るんですけれども、1社ではどうやっても対応で
きなくて、そういうときに業者だけじゃなくて消防団の皆さんとかあつち
こつちにネットワークを持っているでしょうし人もいっぱいいるから一緒
に動けばいいなと思うんですよ。そっちは県だ町だではなくて、消防
団とも連携が取ればいいんじゃないかなと思います。

(司会) そうだよ、お互いに連携が取れば。

(委員 7) 一緒にやりましょうという感じですよ。建設業協会と岩手県との
協定をやっていて、あと、軽米建友会と軽米町との協定もやっているんで
すよ。そういうのもあるから、災害の時なんかはもう一致団結してやるよ
うな形で、そしてそれに消防団も巻き込んでやっていかないと人もいない
からね。

(司会) お互いに協力しながらやっていけば速やかにいくと思うんですよ。消
防団にも連絡が入るからね。

(委員 7) そういうネットワークはやっぱり消防団が一番早いんじゃないかな。

(司会) ただ消防団には重機がないのがね。ちょっとしたチェーンソーなんか
はあるけれども。そういうところで協力していけば、災害なんかもスムー
ズに解決していくと思います。

(委員 7) この間みたいなときは夜はもう怖くていけないですもんね。だから
朝になってからパトロールに出たんですけれども。自分たちがやらなけれ
ばならないじゃなくて一緒にやりましょうという感じでね。

(司会) まあでも、みんな協力していかないとね。訓練も必要だと思うけれ
ども。

(委員 9) 共通すると言えはなんですけれども、この間の台風 10 号、どこの地
区でも同じように町内の小さい河川の氾濫なんかが出たと思いますけれど

も、町では全て把握はやっていると思います。私が言いたいのは、道路でもいいし河川でもいいし、倒木とかいろいろ被害が出ていると思います。町でできるのはここまでで、あとは地域なら地域でやれよとか、そういうのをどっかの段階で、相談して決めろと言えればあれなんですけれども、一方的に言えば地域でも喜ばないと思いますので、できる分はやるし、できないこともきちっとした形を出してもらいたいし、町で復旧できる分、一回にじゃなくても何年計画だとかいうのを図面や何かで分かるように教えてほしいなど。たぶんほかの地域でもそう思っているんじゃないかと思います。災害について届けたんだけど、これはいつどうなるのかと雲をつかむ話ではないけれども。これは県道や県の河川とかでもそうで、県の管轄だからわからないではなくて、県のだけでも確認していつの計画でどうするということを把握してもらってまとめてほしいと思いました。町の分に関しては役場の方で完璧に頭に入っていると思いますので、4月までにできるのはこれこれだとかいうのを示してもらえればと思います。あとは河川に自然に育っている柳やなんかも大きくなる前に切ってしまうと、これは地域で見回っていて切っていればいい話なんだろうけれどもそういうのも事前にできていればいいと思いました。

(委員1) 今出た河川の柳の木、あれは毎年やっているんですよ。というのはね、予算の関係もあって去年お寺橋から大町までみんな切ったので、今見えているのは1年ものですよ。予算を見ながら今年はここからここまでというのを決めているんです。大町からまだ下もありますよね、あれにはまだ入っていないんですよ。これももちろん土木センターに連絡して、課長も視察に来て確認していきましたのでね、来年はやるつもりなんだけれども、岩泉の関係もあるからまだわからないけれども。ただ、1年であれくらいになるからどうにも手に負えないところもあるんですよ。雪が降るまでは私も1週間に2回は雪谷川と瀬月内川を回ってどこをどうしなきゃならないか予算とかを聞いてるんですけどたぶん遅くなると思いますので。それと、さっきも話に出た側溝とかなんとかというのは、役場の担当者は見て歩かないんですか？なんかこの百人委員会の話題にするには側溝とか道路が壊れてとかいうのは話題として小さい気がする。

(地域整備課長) 普段ですね、道路とか河川のパトロールはやっています。当然、災害が出る出ないに関わらずですね。プラス、こういった災害が出るであろう、崩れた崩れそうであるとか水が後50cmで上がるとかですね、避難勧告を出す出さないもあるでしょうし。いずれパトロールについては通常のと、災害時のパトロールというのもやっています。ですので、いま災害の何十か所というのを盛んとまとめているところです。

(委員 7) 道路のことで前々から思っていることなんですけれども、毎週末テニスコートで大会やって大勢の人が来ていますよね。大勢の人が来ているんだけれども、二戸軽米線、高校坂のすごい狭いところを車ですれ違おうのがやっとだったりして、大変な思いをしていると思うんですよ。剣道の大会やる時も体育館へのアクセスが悪くて大変だし、とにかく町でいっぱいやっているイベントなんですけれども、それに対して道路環境が全然なっていないよな、と思います。まあ、建物が後からできて道路が先にあったといえばそうなのかもしれないですけど、例えばこれから馬検場跡地にできるであろう地域交流センターみたいな施設へのアクセスはたぶん警察のところからの道路を広げていくと思うんですけれども、それらもやはり大きなバスとかが入っていけるようなものにしなきゃいけないと思いますし、町民体育館に入っていくところもあそこは道路が狭いですよね。あそこも県道やテニスの会場になると思うんですが、二戸軽米線の改良プラスで考えていったらいいんじゃないかなと思います。あそこらへんには遊休地というか広い土地がありますもんね。広い道路ができれば有効利用もできるんじゃないかと思いますので、個別の道路どうこうというのではなくて、今後様々な計画をもって行くときに広い道路が必要じゃないかなと思いますし、二戸軽米線に関しては役場の方で持っている情報というかはありますか？

(地域整備課長) 今言った二戸軽米線、県道ですね。それが、狭い。それをいずれ改良だったり、今のままでは不便であるしまた危険だし。そういった部分を何とか解消してくださいということで、県の方には要望は出しております。実際、けっこう前から要望してますよね。ここ何年かの話じゃなくずっと前から。まあ、用地的な部分の問題等もございまして、とん挫したような形になって、いずれまた今年も県の方に二戸軽米線の改良については要望はしているところです。いずれ狭いし急だ、雪が降ればもっと狭くなる、それと公共施設も結構ありますよね。高校から中学校から町民体育館からありますので、二戸軽米線を通る人は多いと思います。いずれこれについては優先順位を高めてですね、要望しているところです。

(事務局) 二戸軽米線は、計画のルート変更を土木では考えているんですよ。考えていて、いま図面化、平面図だけは今年作ってみるそうです。今動いてるようなんですが。だから、ルート変更については、瀧村さんのところから稲森さんのところを通して、今の現道じゃなくて、まっすぐ行ってずっと上がって行って甲斐建設のあるあたりから今の現道にもどっていくというルート、後は役場に合わせてこれをどーんと上がって行って高校の自転車置き場がありますよね、あのあたりから上がっていくルートなど数パタ

一の計画の平面図を図面上ですけれど検討、ようやくですね。今まで要望してようやく少し前に進んだかなという感じですね。

(委員7) でも、まだまだ先は見えないわけですね。

(事務局) 結局いまルートは3路線くらい検討していて、たたき台を出して、再度用地の交渉をして、で3路線のうちどのルートがいいのかというところはまた町とも協議することになるとも思うんですけども、とりあえず平面図上に2路線から3路線の計画を入れる、で用地的な部分というような形になっていくと思うので。ただ、今じゃあ再来年から工事に着手しますよとかいう事業化にはなっていないけれども、とりあえず継続して協議をして進めていくという動きにはなっています。

(司会) 前から計画はあったもんね。

(事務局) 前も計画はあったんですよ。ただ、2カ所ばかりどうしても用地的に困難だということで一時やめたみたいですけども。

(委員1) いま道路を広げるという場所はどこなんですか？あそこは狭いから広げるという話は聞いたんですけども、場所がわからなくて。

(事務局) 町内ではどこか拡幅するとかいうのはないですけど…。

(委員1) 山内かそっちの方では何かないですか？

(事務局) 参勤街道はありますよ。参勤街道は冬も事故は多いし、県に要望してたけれども、県でもなかなか予算が付きにくいし、でも要望は強いから、町でもう整備することで。もしかしたらその話かもしれないですね、今の道路よりは広がるので。

(委員1) それは町の予算でやるんですか？

(事務局) 町の予算です。

(委員1) やっぱり町だからできることがあるのかもしれないし、県は1回2回言っても、とにかく足を運んで運んでしないと。それも予算があればの話でないとわれればもう仕方ないんだけど。

(事務局) あんまりああだこうだと言えば、せっかくのいい発言も消えてしまったりするのでできるだけ言わないようにはしますが、いずれ自由に意見を出してもらえれば。ただ、さっき出た小軽米の道路については今年歩道を整備しますから。だから、それはもう解消になると思います。あの小学校のところですね、あれは今年保育園のところから真っ直ぐずっと歩道を付けて小学校までつなげて、中学校へ行くところも橋があるので、まっすぐ行ってT字路にぶつかってそこから橋までと小学校まで歩道が整備になって。今年は予算の関係もあって保育園側の起点はやれないけれども、向こうの終点側、小学校から中学校までは入札をこの前やって業者も決まったので、そこはまず解消されると思いますけど、今残っていた残地とい

うのは、道路用地ではないので、道路用地じゃないから草刈りしないというのではなく、本来はPTAが多かった時代はPTAも協力して刈ってたんですよね。ところが小学校もどんどん人数が少なくなってきて、世代交代もして。私たちがPTAの頃は学校の周りもみんな刈っていたけれども、今は学校でここだけ刈ってくればいいやと言ったところしかやらないから、本来はそういったところもPTAで刈っていたんですけれども。だからそういったところが危ないなというのであれば本来は学校であったり教育委員会の方で見てもらえれば、草刈りとか何とかしなければいけない部分だとは思うんですけれども。

(委員8) 余談になるんですけども、小軽米の小学校の校門を入れてすぐのところヒバが高くなりすぎたんで、この間3分の1くらいに切り落としてやった。いっぺんに落とすとこれから冬になって危ないんで、上の方だけ切って大雑把な形つくって、あとは脚立で届くくらいにしておけば他の人でもいつでも刈り込めるかなと思って。

(事務局) だからやっぱり学校だけとかPTAだけって言っても、学校の先生たちも今なかなかそこまで手が回らないので、だからむしろPTAだけでなく、OBのPTAの人たちなんかも一緒に見てやって手を貸してあげられれば非常に助かると思うんですけれどもね。

(委員8) 木の剪定とかになると、PTAの人たちだとまだ若い人ばかりだからちょっと無理だろうと思うしね。あと、長い目で見たら、軽米と小軽米の雪谷川の岸边に遊歩道のようなものができるんですけども、全部つながっていないんだよね。2枚岩のあたり、あのあたりから車門のあたりが繋がっていない。長い目で見れば、あれをつなげてもらえたら高齢者の方も歩いて…。堤防の上の方に歩いていけるようなのが。

(地域整備課長) 遊歩道というか、管理道ですね。河川の管理道路だと思います。

(委員8) 桜の木なんか植えてあって、管理道路であっても遊歩道として使えるようにしてもらえたらいいと思う。車門の坂を上り始めたところ、下の方は河川に沿ってあるんですけども、上りきった部分がと切れているんだよね。ああいうところに階段なりスロープなりを。

(司会) 小軽米の方はずっとあるわけ？

(委員8) 戸草内の方は右岸で、増子内の分は左岸だけれども、長い目で見ればあそこも整備してもらえれば、高齢者の方も軽米出てくるのに歩いてみようってなるんじゃないかな。

(地域整備課長) そうすると、小軽米から軽米までずっと川沿いに歩いていけるような道路があったらいいなということですね。

(委員 8) 今あるのを利用して、それがずっとつながればいいなと思いますけどね。

(事務局) いいアイデアですけど、維持管理は大変ですよ。小軽米から車門まで、車門から軽米まで、どういったイメージの河川づくりまちづくりというのをみんなで、むしろ特に若い人たちが積極的になって考えてもらわないと。せっかくの夢を潰せばあれなのであんまり言わないようにとは思いますが、ただ、造ってしまえば、たとえば歩くだけならいいけど今度は自転車で通るにはとか、自転車で通るときに柵も何もなくて落ちてケガをしたとなった時に、それは自己責任だとは言うものの、いろんなのが出てきます。何か対策をしたらいとか、車止めをすればいいとか。ただ今度は桜の剪定や何かの作業をするためにはやはり車が通れる広さや幅も確保しないとイケない。きれいにつくってもらってみんなできれいにしていって、みんな管理していくというようにずっと長く続いていければいいんですけど。だから個人的には私もそういったのがあればいいなとは思いますが。でも、造って終わりというのではなく、あっちの人もこっちの人もみんな協力してやっていこうというのがあればいいと思います。

(委員 8) 他へ行けばね、舗装されて人も自転車もいいよというところもあるしね。せっかく作ってもらってもそんなに利用者はいないかもしれない。造ったとしても、軽米の人が小軽米まで歩いて行こうとは思わないんだよね。小軽米の人は軽米まで歩いてみようとは思うんですよ。軽米の人は小軽米や円子に行ったことがないという人は結構多いですよ。だからせっかく造ったとしても利用価値がないよと言われてそれまでなんだけど、であれば、これから長寿になってくれば余計にそういうもの、体を動かせる場所があれば。道路に沿ってはさすがに歩けないもんね、歩道がないから。

(地域整備課長) なんでもそうだけれども、造れば造ったなりに管理は大変ですよ。だからその管理のしかたもうまく続けていくようにですね。

(委員 8) だから、地域ごとに小軽米の分は小軽米、増子内の分は増子内、軽米は軽米で分担して管理していければいいんだけどね。

(司会) やるとすればそういうシステムでやっていかないと、役所だけではとてもそこまで管理はできないだろうし。

(地域整備課長) 話の途中ですみません。時間ですけどもだいたい 8 時ころを目途にと思っております。

(委員 9) 小軽米の中学校の後、松の脇に行く道路の山手の方に田んぼがあるようなんです。あそこに柳かなんか木が生えてるんですが。それを私、他の人に借りてくれないかといったんです、復旧させるからと。そしたら排水がないというんですよ。水が抜けていかない、だからいくら植えても駄

目だと。それが道路化河川の何かで、昔はよかったんだろうけれども、なんだかダメになったみたい。あるとは思うんだけど。だからあそこはもう使い物にならない、今の状態であれば。排水とかのあれは、河川工事や何かをするときに当然作ってあると思うんだけど、ああいうのもどっかで改善してあげないと、全く不毛な土地になってしまうと思う。

(委員 8) あそこはこの前も水が上がったし、田んぼにも柳がびっしり生えて。本流、雪谷川の方から逆流したり。

(事務局) ただあそこは、道路を高くしてからもしばらくは作付けしてたんですよ。まあ、川の方が高くなったのか、それが原因でやめたのかはわからないですよ。それが原因か、やめてそのまま管理もしないでいたから余計に排水が悪くなったのか。河川の水が高くなれば逆流ということは確かにあるかもしれないです。

(地域整備課長) 他に、皆さん何かございませんか？ 第3回もまたやるので、今日話し忘れたことや新たに考えたことなど出していただいて結構ですけど、今日の部分で何か言い忘れたことなどありましたら。…よろしいですか。それではですね、第3回の日程と開催日時ということなんですが。

○次回の開催日時と進め方

次回は、11月7日月曜日の午後6時から、今回グループに分かれて話し合ったこと、これをまた全体の前で出していただいて、皆さんからまた肉付けをしていただいて、最後まとめるということで決定。

軽米町百人委員会平成 28 年度第 2 回環境・衛生部会議事録

○（衛生・住環境グループ）

（司会）ということですね、こちらの方では衛生環境と住環境の二つをまとめてということになります。それですみません、私 1 回目の時出席できなくて、後から資料の方で見させていただいたんですけれども、皆さんの方では第 2 回目の時にはどんなことを話そうというのを考えてきたと思いますので、ありませんかというよりもせっかくなので、一人ずつお話をいただきながらの方が進行も早いかなと思いますので。

（委員 6）住環境と言っても、住むお家のことだけじゃなくて、やっぱりいろいろ考えなきゃいけないと思います。通勤通学、通院、それから買い物とかですね、そういったのが全部できるような環境があるかどうかですね。あとは、高齢者とか障がいのある方たち、それから子育て世代など、あらゆる人が安心して暮らせる町をつくるのが大事だなと思いました。これから先のことなので、ちょっと理想みたいな話になりますけれども、住環境と合わせて交通なんかも関係があると思います。今日も買い物帰りの高齢者の方が、買い物袋を引きずりながらバスに乗り込もうとしているところを見ましたし、隣近所との支え合いだったり、災害なんかについても安心して暮らせる町づくりというのをみんなで考えていきたいと思います。いま町の方でも空き家対策ってあるんですけれども、例えばホントはここに住みたいんだけど仕方がなくて盛岡とかに住んでいる人たちが、貸したくてもその間に入る人がいないとなかなか話が進まないし、不動産屋もいると思うんだけど、私はやっぱり役場とか公的なところが間に入ってくると安心して貸したり借ったりができるんじゃないかなと。あと、住環境と言っても住むところだけじゃないので、福祉の関係とかいろいろあるので、役場の方で住居関係の協議をしたり計画を立てたりとあると思うんですが、住宅といえばすぐに地域整備課を思い出すんですけれども、町民生活課とか健康福祉課とか、あるいは教育委員会なんかも関係してくるかと思うんですが、そういう課が連携し合って協議していけばいいなと思いました。

（委員 5）一番問題なのはですね、軽米はまだ人が減っていない方だからあまり感じていないかもしれないんですけれど、高齢者の方の車の運転。免許と車があるから乗り続けているけれど、しょっちゅうぶつけている人もいます。それで、もう危ないから乗るな、と言いたくても、車がないと今度は買い物に行けない。足腰もそんなに丈夫じゃないし、年を取ると買物ができない。それでも今はタクシーを使っているそうですけれども、そうす

るとタクシー代が莫大にかかる。昔であれば親子でいるからとか、子どもが面倒見るとかあったかもしれないが、今は親子で別々だから、年を取ってくれば全ての人に起こることなんですよね。さてじゃあこれをどうすればいいのかなと考えたときに、バスったって特定の場所しか回っていないし、町で買えるようにするとか、何か考えないと今のように交通の便が良くて、町の外の方に店があるというのは、これだけじゃすまないような状況があるんじゃないかなと。他人事ではなくて、私たちもいずれそうなるなど、間違いなく近い将来乗れなくなると思います。そんな人がこれからどんどん増えるので、これは町としてもどうにかしていかないといけないんだと思います。

(委員3) 私も、衛生環境に丸を付けて参加しましたがけれども、実際のところはどんなことをすれば衛生環境なのかなと考えたんですけど、昨日おとといのあたり、これは川にも関係してくると思うんですが、道路の側溝が川に行くようになっていくと思うんですけども、簀の子になっているところが蓮台野から荒町まで3箇所か4箇所あったかと思うんですけども、そこをきれいにしている。それをやっているのを見てどういう風にしていくんだらうなと思って、お陰様で報国橋のほうまで行きましたっけね。町の方から流れてくるのが詰まらなくなったのできれいになったわけ。それがとても衛生的になったなとつくづく思った。台所から流れる水がほんとは下水道に行かなきゃいけないんだけど、山の方から来ている水なのかとかかく入り混じって川に行くでしょ？それがそのまま流れていけば、そこから一体の河川がぐちゃぐちゃになって歩くのも大変だし水が溜まれば蚊もわいて、ジカ熱とかなんとか熱とかの予防にもなるし、よかったなと思いました。そしてそれが町の中の側溝とかでも泥が詰まって草が生えてきたりとかそういうところもあるので、川に面した下水だけじゃなくてそういうところも臭いとかいう話もあるから、そういうところは気を付けて町内で掃除するときもあるだろうし、町として取り組んでもらいときもあるだろうから、そこもやっぱりきれいにして、心地よく過ごせる感じになっていけばいいかなと。

(委員4) 私側溝の関係なんですけど、町内会にしろ役場にしろ、一箇所だけやっても駄目だから一斉にやる何かがあればいいのかなと。それだけです。

(委員2) 最近非常に目につくのが、ごみのポイ捨てです。通勤してるんですよ、八戸まで。以前に比べると、すごく増えている。コンビニも増えているし、町内の人だけじゃないと思うんだけど、町内を見ても空き缶があったりコンビニの袋が散乱していたり、そしてそれを突くカラスがいたり

キツネがいたりでしょ。全体で見えていかないと、外から来た人が汚いと思う。これは難しい問題かもしれないけれど、町民としてごみの環境問題かなと思う。前は出席できなかったけれども、他の委員の人もしゃべっていますよね、ごみのポイ捨てをしているって。これは、年に1回のクリーンアップデーでは処理できないんですよ。そして、春に除雪すればいっぱい出てくるんですよ。

(委員5) これは私ね、教育だと思う。昔、中国に行ってそう思ったんだけど、上海っていう大都会ですよ、昔から。ところが、上海の駅のホームにはものすごいゴミだったんですよ。今はどうかわかりませんよ。天安門事件の次の年に行きましたが、駅のホームはゴミだらけ、そこから蘇州まで車でいったんですよ。蘇州につくまで線路の周りが全部そうですよ。ということは、中国はそういう教育をちゃんとしていない、日本もそうだったかもわかりません。今はどうか知らないけれど、昔は道徳とかでそういうのはいけないよというのをやったと思うんだけど、いまおっしゃったようにコンビニが出たり、さっと飲んでさっと食ってそのまま車に積み込めば後で掃除するのがめんどくさいからやると思うんだよね。考え方だと思うんですよ。きれいなところに住まなきゃいけない、誰かが掃除しなきゃいけない。みんながそう考えればそういうこともなくなると思うんですけれどね。

(委員2) 私たちの子どもはもう30いくつだけれど、夏休みの時なんかみんなでごみ拾いとかしたじゃないですか。それが教育だったでしょ、学校としての。今は子どもの数も減ってきたけれど、各家庭もそうだけれど学校でも職場でもね、取り組んでいくことが、簡単なことなだけれど一番難しいんですよ。

(委員5) 長倉通りはすごいですよ。毎日歩いているんだけど、とにかくゴミがすごいですよ。それを拾って持って帰ってくるんだけど、すぐまたひどくなる。ひどい奴らなんかグレーチングかっぱらっていくからね。

(司会) ゴミの話の続きであれですが、議員さんたちが行ってきたのかな上勝町に。それをたまたまテレビか何かで見たんだけど、ご存知ですか、分別がすごい。前に三沢の自衛官になっていた女性の方が、今は役場だったかの職員だと思うんだけど。軽米でも生ごみはやっているし、一時期はプラスチックもどうのこうのと、あれやってみれば本当にゴミが減る。なんで試験的にやりましたって、せつかくみんなが協力してやったことを試験が終わったからといってやめちゃうのかなと、そこが少し疑問です。あれを全部町民がやるようになったら、理想的な話ですが子どもたちが通学路でコンビニのごみ袋一つでもいいからゴミを拾って学校にもってい

って学校で分別すれば、それも一つの勉強になるのではないかなと。よそではいろんなイベントがあると、ゴミは持ち帰りと話ではしてもみなさん持ち帰る袋を持っていなければそこらへんの見えないところに捨てたりとか、軽米でも何かイベントすると靴を入れてくださいとビニール袋渡しますよね。そういった感じでごみ袋として入場者に配ってそれにごみを入れて、万が一そのゴミをそこらに捨てていく人がいれば、ごみはここに置いて行って下さい、ここは燃えるごみですと、私南郷のジャズに毎年行くんですけれども、あそこでは毎年みんなゴミは回収してくれてます。それはもちろん、高い入場料払うからというのものもあるでしょうけど、いらなくあちこちに捨てられるよりは、一括して入場口や出口で集めるのも手じゃないかなというのは常々感じているところでした。それとこの間国体があったわけですが、たまたまその会場にボランティアでお邪魔することがあったらば、まあ軽米のなんときれいなことよとハートフルは思いました。その前には今ジャーナルでもやっていますけれども9月に皆さんでごみ拾いをしたりとか見えないところもあるかと思うんですけれども、一人でできないところはみんな協力しながら、先ほどの下水の話でもですけど、たとえば雪が30cm降った、それだけ降ったらもう町内みんなで出ようよ。大町だけじゃない新町だけじゃない仲町だけじゃない。独居している方もいるからどうやったって自分の家の前だけでも雪かきできない方もいる。行政に任せてたっていつになるかわからないというのであれば、自分たちで出来ることであればやってもいいのかなと。たまたま大町ではそういう取り決めをして出たり出なかつたりだけれどもまずそうやっていますね。

(委員3) 蓮台野もそうやっています。

(司会) そういった時にたまたま岩泉で水害があつて、軽米に野球の人たちが来ても泊まる場所がなかったと。旅館があればいいと言ったって、そんなに毎日集客できるわけじゃないのにただただ建てるわけにもいかない。そうなったときに、例えば軽米の中にツーリズムというか、民間でもいいのであればそういった受け入れみたいなことができれば、私も音更の子どもたちが来た時にはやったけれども、そういった空き家対策ができれば。ただ空家対策も住んでないんだけども盆には帰ってくる正月には帰ってくる、他人さまには貸したくない見せたくない、そういった方も中にはいらっしゃるの、町の方で調査した話をちょっと聞いたけれども、その結果も聞きながら、例えば古民家だつていいと思う。外国人は古民家をととても大事にして、わざわざ古民家をさがして泊まりに来る人もいるらしい。軽米ももっとそういうところに力を入れてやれば、受け入れももう少しできるようになるのではないかなと、いま皆さんのお話を聞きながらふと感じ

ておりました。今までの話を受けて、また新たにでも結構ですので、皆さんから何かあれば。まあ、要望ではなくご意見という事ですので、お出しただければと思うのですがいかがでしょうか。

(委員2) さっき出ていた高齢者の買い物、すごく大変なんですよ。

(委員5) これからもっと大変になるよ。

(委員2) 私の職場の方にあるスーパーもすごく人が減ったんですよ。やる人がなくなったんですよ。週1回か2回来てた人が来なくなるんですよ。一人暮らしのおばあさんたちが通えなくなるとそういう業者も減ってくるんですよ。

(司会) たけさわさんでやってなかったですっけか、配達しますって。

(委員5) 今国の方で、ガソリンが全然売れなくなってきている。それで閉めるところが増えてきているそうですもんね。そうすると、何年かに1回タンクを取り換えなきゃいけないそうなんですけれど、そしたら国の方でそれに補助を出して、それで何とかスタンドを続けてくださいと。それから灯油を積むトラックも補助を出しているようで、それでスタンドを残すということをやっているんですよ。そやって地方の面倒を見てあげなきゃいけないと国の方では思っているようなんですけども、近い将来もっとそういうことをやっていかないと田舎の人は死んでしまうと思うので、近いうちにやると思うんですけど、COOPが来るか何が来るかわかりませんが、町の方でそういうのをやってくれるようにと思うんですけど。今のところはまだそこまで行っていないのでね。

(司会) 町内でも、配達してくれたり、自分とこの店のもの以外の物も持ってきてくれたり、そういう人もいるもんね。他ではロータリーとかもすごくがんばっているみたいだけれど、軽米は無くなっちゃったからね

(委員5) 軽米でロータリーやライオンズをやるとトップに立った人は殺されてしまう。極端だけどそう思う。ボランティアとかを必死に頑張る人を潰すんですよ、軽米は不思議と。人が潰される。だって、仕事やっているじゃないですか、みんな同じ立場で仕事やっているんだけどね、上の方は特にだけど、とにかく休みがないんだから。それでもうダメだ1抜けたとなれば、またその分負荷がかかってくるんだから。最後ボランティアできなくなってやめました。いいことだと思うんですよ、すごく。仕事をしながらボランティアでいろんなことをやるというのは、大切だと思う。だけれどね、軽米にいと潰される。毎週例会なんですよ。私が入って何年目だったかな、幹事を任されて。その例会の時、全部議事録取るんですよ。それを次の例会までにまとめて会報を作って持って来なきゃいけない、幹事が。それを毎週ですよ、丸1年あるわけだ。ようやくそれが終わってや

れやれと思うと会長だもの今度は。そしてあっちだこっちだと飛んで歩かなきゃいけないでしょ、まず潰される。それが終わって今度は自分が役付けるでしょ。そうすると今度は「そんな役付けるなら俺はやめる」が始まるんですよ。だから、一生懸命やろうとすると潰されるんだよここは。それで、とてもじゃないけどもたなかったですよ。それでやめました。そして何年もしないうちに無くなりました。

(司会) 前に社協の方だったっけか、今はシルバー人材だけでもその前にボランティア登録してくださいみたいなのもあったけど、あれも自然消滅して無くなりました？何をというのではなく、自分にできることのボランティアだったんです。まあ、もしかした話がずれるかもしれないけれども、何をやるにも金かねと言ってもしょうがないから。

(委員5) 青森なんかだと、1m2m雪が降るでしょ。そうすると高校生なんか、冬休みなんかボランティアで雪かきするよね。そういう育成が大事ですよ。

(司会) そして褒めると子どもたちもすごく喜んでね。あいさつもするようになって。今はあいさつできない子も多いよね。

(委員5) 損得で考えればとてもできないけれども、そういうのもできる人になっていかないとね。気持ちだと思うんですよ。そういう人が育たないとだめだね。雪もそうですけど、除雪すれば文句が来ると。本当は、こっからここまでとルールを決めて町民の援助をもらわなきゃいけないんですよ。だって役場だってやりきれないもん、最近余計に雪が多いしね。

(委員2) 軽米だけじゃない、八戸でも青森でも、みんな怒るんだもん雪を置いていくなって。それはおかしいでしょ。

(委員5) だからそれも教育だと思うんだよ。だってもう、やってもらうのが当たり前になってきているからね。やっぱりそれをやるのが当たり前ではないんだけど、皆さんの税金でこれをやるのだという説明が足りないんだと思う。やってもらって感謝がないんだもの。やってもらって不満だらけならやらない方がいいでしょ。中には年を取ってくればそういうのに文句を言いたい人も出てくると思うんだけど、それは違うんだというのをやっぱり言わなきゃいけないんだよね。財源だって限られてくるんだし、その中でやっていくってことはだって、昔に比べれば昭和35年だったか道路が2週間ぐらい止まったっただでしょ。役場に1台しかブルドーザーがなくて、あれに比べたら。

(委員6) 最初に私しゃべった時に、これは福祉とかも関係があると思うので、役場にも連携してほしいというか、この前も大雨が降った時に考えたんですが、自分も高齢者の部類に入ってますがもっと高齢者の人、80代に入っ

ている人とかもあって、町内会とかでもお互いに大丈夫でしたかとかそういうつながりとかも大事にしていかなきゃいけないなど。雪かきなんかもそうですけど、地震の時なんかも大丈夫でしたかと話しかけると「いや本当に声をかけてもらってありがたかった」と。やはり人と人とのかかわり合いというか、そういうのもなかなかできないので、そういう仕組みもやっぱり大事にしていきたいなと思います。いま保健推進員の人たちで共食事業ってやっているんですよね、一緒に出てきて食事をしたりして。それもボランティアでずっと長く続けているので、そういうのも自分たちよりも下の人たちに続いていかないので、下の人に伝えていくというのも大事かなと思います。これは環境衛生なので違うかもしれないんですが、図書館のボランティアをやっていてもなかなか若い人が入ってこない。安心して暮らしていくというものの中にはやはり、若い人と高齢者をつなげていくということも大事かなと思います。

(司会) それぞれの中に民生委員の方もいらっしゃるかと思うんですが、民生員の方々の仕事というのが私詳しく存じ上げなくて、そしたら九戸の方と話す機会があって、雪が降ったら自分の家の前に他の家の雪かきをしたり、自分の家の前の沢が氾濫してても他の家の見回りに行くもんだと、ボランティアとは言うんだけどけっこう大変で、さっきの話につながるけど民生委員の皆さんもなかなか手がいないようです。どこまでやればいいのか、どこまでやってもらえば満足なのか、やはりだんだんにやって当たり前みたいなものが出てくるとよくない。どこかで考え直しをしなければ、さあやろうやろうとなっても大変だなとこの前聞いて思いました。

(委員5) 衛生環境とは別で商売の方だけれどもね、いま町の人口が9千何百人ですよね。近い将来5, 6千人になりますよね? そうなったときに、軽米で商売できる人が何件あるかということですよ。商売できなくなってやめるのはいい、でも残った町の人はどうなるんだと。食糧でも何でもそうです。人が減った時に商売が成り立たなくなる。そしてやめなきゃいけない。やめたときに、その店だけ大変か、そうではなく残った人も大変なんです。この前、日本は対象11年だかが国土調査で5千何百万人、明治維新で3千万人ですから。それからずっと1億数千万人まで増えたわけですよ。これからは減っていく。減っていくのを経験していないんだよね。どこに行ってもその話ばかり出るけれども、我々はずっと増え続けてきている良い時代しか経験してないから、考えられないんですよ。その時になってからじゃないと考えられないと思う。だから、自分の息子とかにもそうなるよって話しても全然ピンと来ないんだよ。実際、私もピンとこないんだけど、でも現実にそれがやってくるんだよね。

(委員3) 実際軽米の人口だって半分になってるからね。

(司会) 子どもが生まれないこともあるし、外から入ってこないこともあるし。環境衛生とは違うかもしれないけれど、どうやって外から来る人を呼び込むか。中に住んでいると気づかないかもしれないけれど、外から来た人を呼んで話を聞く会みたいなのを開いて、役場に集めなくても私はできないけれどもホームページみたいなのも役場にはあるみたいだから。大勢が見ている前でお話くださいって言ってもあれだから。やっぱり聞く耳も持たないとだめだもんね。百人はなかったみたいだけれどこうやって縁あって集まったんだし、意見を述べさせてもらえればね。役場では投書してくださいみたいなのもやっているけど、なかなか投書なんてできませんから。私たちはもう軽米にしか生きられませんからね。軽米の良いところって何かありますか？

(委員5) 軽米の良いところはね、合併しなかったこと。町村合併したところはね、みんな悔やんでるはずですよ、やらなきゃよかったって。これ以上町村合併しないで、人数が減っても我慢してやった方がいいね。その代わりに、町民がいろんなことをボランティアみたいにして協力してやっていく形にしていかないと。道路にしたって昔に比べてとんでもなく多いでしょ。下水道ももちろんでしょ、どうやったって金がかかるんだもの、この設備を維持していくためには。そんな時に町民が何でも役場でやるのが当たり前だなんて言ったら何にももうまくいかなくなる。それはやっぱり地元の住民が動いていかないといけない。

(委員3) だからある程度自分たちでやって、これ以上はどうにもならないというときには助けてもらえる体制を作っていくというのがいいのかなと思います。

(委員5) ある意味、新しい建物がそんなにないというのがいいことかもしれませんが。新しい建物はそれだけで維持管理費がとんでもなくかかるんだもの。そういう意味ではかえっていいのかもしれませんが。

(司会) 人口が減っているから、かえってまとまりやすくなるんじゃないのかなと思いますね。

(委員3) この間なんか、国体の無料ドリンクのところできるなしを宣伝しましたね。一応缶のまま配ることはできなくて、手渡ししながら宣伝しましたけど。

(委員5) 当事者からするとね、人は言われたことを4分の1しか聞いていないから。ところがもらった人から聞けば半分から7割くらいは聞こえるんですよ。だからそういう風にしないと宣伝というのは効果がない。いくらここで一生懸命に話しても、それを聞いた人たちが真剣に広めていかなけ

れば、そこが大事になってくると思う。そうすれば小さなことでもきっと宣伝効果が上がるんですよ。

(司会) 軽米には人を呼べる環境があるから、ただ、どうしても点々としてて私も友達なんか来て軽米を案内すると、どうしてもドライブになっちゃうもんね。

(委員3) なんとかフォリストパークやミレットパークを活用しないと。国体の時なんか、食フェスタに料理を出している人たちにご飯を作ってもらってミレットに泊まってもらってもよかったかななんて思います。

(委員5) 一冬越すと、道路の脇にすごく泥が溜まるんだよね。町なかはいいいんだけど、歩道の立派なのがあちこちにあるんだけど、その道路の隙間から草が飛び出てるわけですよ。ほそうのわきのえんせきにも草がすごくなるんだけど、これを県も町も刈らないんだよね。私も気がついた時は刈ったりもしているんだけど、真夏なんかすぐ伸びますもんね。結局ボランティアでは間に合わないような状況でね。あれはどこの管轄かわからないし、今回は国体だということで、うちも総動員でやらせましたけど、見た目が悪いし、歩道の草というのは1回出てしまうと殺せないんだよね。毎年すごい草。

(司会) そういうのはやっぱり、クリーンアップデーを月1でやったり隔月でやったり、町内一斉は無理でもね。

以降は、道路河川環境グループと机を合わせ、第3回部会の日程を決定。